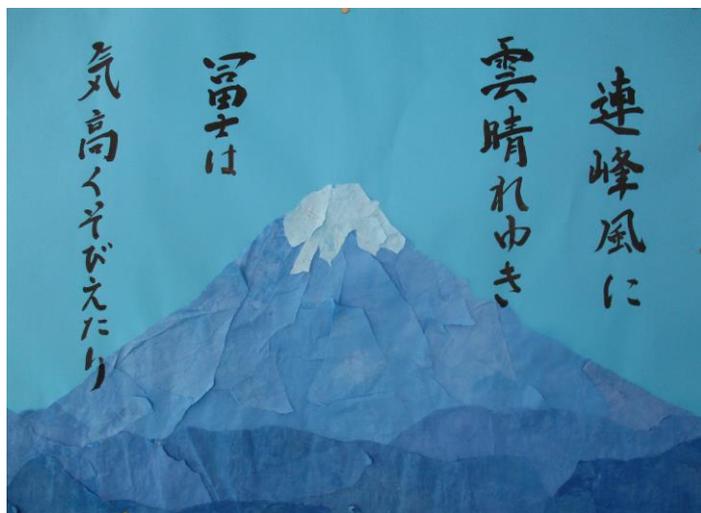




あけやき

南中学校だより

校長 保坂 哲也



学校再開から一ヶ月あまり……5月24日(日)は、学年を二つに分けての分散型入学式。そして、翌25日には、クラスごとテレビ画面による始業式。その後は、1週間単位で、「午後の授業」、「給食」、「部活動」と教育活動を段階的に増やして、新しい生活様式に基づいた学校生活が始まりました。長いお休みを経ての学校再開、ましてや、マスクをしての授業など今まで経験したことのない生活スタイルですので、皆とても疲れているのではないかと思います。

反面、学校が始まり、生徒が元気に登校し、授業を受ける。今まで、当たり前だと思っていたことが、とてもありがたいと思う今日この頃です。やはり、学校は生徒がいてこそものだと、あらためて実感したところです。これからも、前を向いて、南中の生徒・職員一丸となって前進していきたい、1年生の昇降口の貼り絵が今日も我々に元気を与えてくれます。

「連峰風に 雲晴れゆき 富士は気高く そびえたり」

一心皆進 (いしんかいしん)

6月23日(火)梅雨晴れの放課後、新型コロナウイルスの影響で全校集まっての生徒総会ができないため、生徒総会代替として執行部、各クラスの代表による「臨時中央委員会」が行われました。クラス代表による熱心な討議の結果、今年度の生徒会活動の方針は「気づき・考え・実行する」に決定しました。これは、南中生徒会として、様々な活動を行いながら、自分たちで課題に気づき、解決策を考え、さらに良い活動にしていこうという南中生の意思の表れでもあります。

また、生徒会のテーマはすべてのクラス・班からの賛成をいただき「一心皆進(いしんかいしん)」に決まりました。このテーマの意味は、「皆」で「心」を「一」にして「進」でいくという意味を込めたもので、「一人ひとりが南中の生徒会活動を作っていくんだ。」という意識を常に持って行動し、今まで受け継いできた「正しき自主」の伝統をさらに発展させていくことをねらいとしています。

さらに、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、例年どおりのことができないため、南中生全員で一丸となって困難を乗り越えるために心をひとつにする必要があるという考えによるものです。



臨時中央委員会の決議を受けて、生徒会長は「今年は特別な年だからこそ、生徒会の目的である『より良い学校を創っていく。』という気持ちを全員でしっかりと持ち、全校一丸となって生徒会活動を進めていきたい。」と話してくれました。

.....

 感染症対策 熱中症対策 

小暑を前に、蒸し暑い日が続きます。本格的に授業が再開した学校では、感染症対策と熱中症対策のバランスを考えながら教育活動を進めています。とりわけ、夏休みの短縮を受けた熱中症対策については、次のような点を生徒に伝えています。

- 睡眠や朝食をしっかりととりましょう。
- 水筒を持参し、のどが渇く前に、こまめに水分補給をしましょう。
- 気温、湿度の高い中でマスクを着用すると熱中症のリスクが高くなる恐れがあるので注意しましょう。
- 体育や部活動の時など、屋外で人と十分な距離(少なくとも2m以上)が確保できる場合には、マスクを外すようにしましょう。

我が国では古来から、言葉には不思議な力があると信じられていて、そんな言葉の持つ力を「言霊(ことだま)」と表現していました。考えてみれば、人が話す言葉は、その使い方によって、聴いている人を幸せにしたり、うれしい気持ちにしたり、その反対に、悲しい気持ちや、せつない気持ちにさせたりもします。

ひとつの言葉

あらためて、言葉には、人の心を動かす大きな力があり、大切に使うていかなければならないと思います。ある学年の廊下に、北原白秋のこんな詩が掲示されていました。

